

平 成 4 年 度

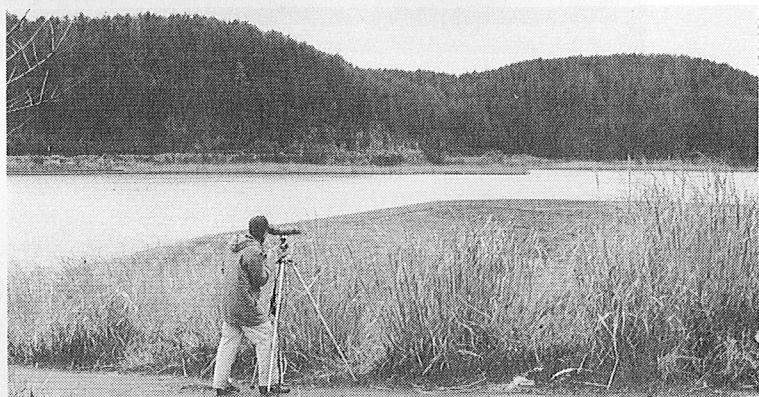
ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 5 年 2 月

福 井 県



福良ヶ池



北潟湖



大堤



九頭竜川河口流域



九頭竜川中流域



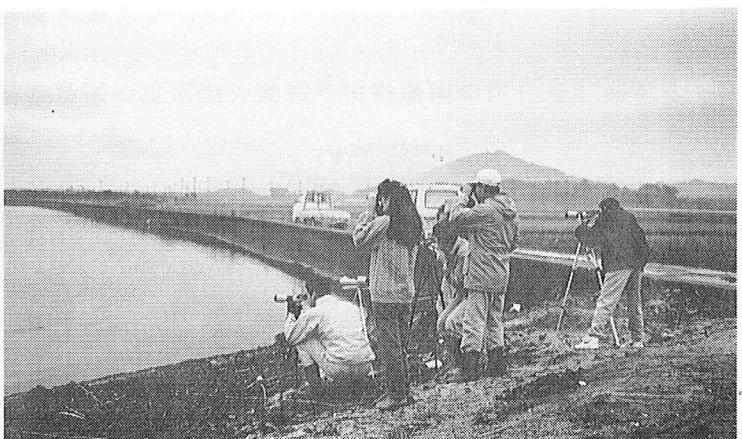
日野川



猪ヶ池



阿原ヶ池



久々子湖



菅 湖



三 方 湖



水 月 湖



小 浜 湾

1 調査の概要

はじめに

ガンカモ科の鳥類は、河川、湖沼、海岸などの水域に主に生息している。

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）
これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現われるため、それに応じてガ
ンカモ類の生息状況が影響されるであろう。

また、ガンカモ科の大半の種は、狩猟鳥として重要な位置を占めている。

野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわ
かる基礎資料を収集し、鳥獣行政に資するものとする。また、
たる科学的な資料を必要とする。

この調査は、福井県の委託を受けて（財）日本野鳥の会福井県支部
そこで、ガンカモ科の鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握する

ために調査・分析を行った。

この調査は、福井県より本会が委託されて実施されたものである。調査
結果が、福井県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、

かつ鳥獣保護行政に資することができれば幸いである。

報告書をまとめるにあたり、調査方法の指導にあたられた福井県自然保

護センター、及び調査実施に協力をいただいた会員各位に対して心からお

地域内で観察されたガンカモ科鳥類を種別に個体数を記録した。各調

査を申し上げる次第である。名配設し、双眼鏡（8～10倍）および望遠鏡

（20～45倍）で種を判定し、その個体数を数取り器により記録じ

た。記録の間、鳥が移動して消失や重複がありえたので、カウントは

数回行い、その平均値を記録とした。種構成、個体数、生息状況など

平成5年2月の変化について、得られた結果を過去の資料と比較・分析した。

（財）日本野鳥の会福井県支部

1 調査の概要

（福井県内における鳥類の渡来状況）調査報告書 第1回

附録（I）

（1）経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）の指示により、毎年1月15日を中心全国一斉に実施されているもので、今回は24回目である。

昭和52年度からは、本会にその事業が委託され主要な調査事業として取り組んでいる。

（2）調査の目的

この事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣行政に資するものとする。

（3）調査実施者

この調査は、福井県の委託を受けて（財）日本野鳥の会福井県支部が実施した。

（4）調査日と時間

平成5年1月15日の午前中に調査を行った。

（5）調査場地

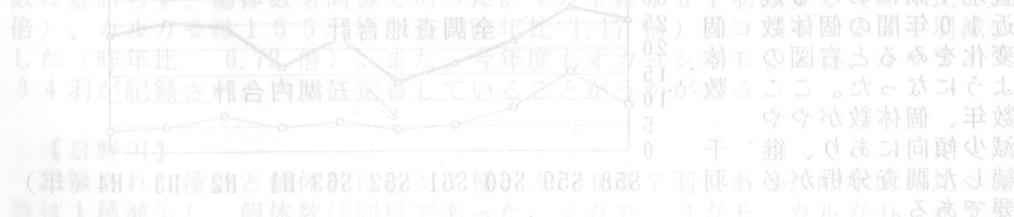
調査地は、福井県から指定された湖沼、河川、内湾などの13箇所であった（第1、2図）。

（6）調査員

調査員は、ガンカモ科の鳥類の識別能力があり、また、過去にも調査経験のある会員59名で構成した（あとがき参照）。

（7）調査及び分析方法

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類を種別に個体数を記録した。各調査地に人員を2～13名配置し、双眼鏡（8～10倍）および望遠鏡（20～45倍）で種を判定し、その個体数を数取り器により記録した。記録の間、鳥が移動して消失や重複がありえたので、カウントは数回行い、その平均値を記録とした。種構成、個体数、生息状況などの変化について、得られた結果を過去の資料と比較・分析した。



要 調 査 の 結 果 及 び 考 察

(1) 概況

調査日の1月15日は曇りがちの天候ではあったが、視界も良好で種の判定やカウントは支障なく行われた。

13ヶ所の調査で、ガン類2種、ハクチョウ類1種、カモ類16種の計19種、計22,950羽が記録された。平成2年度以来20,000羽以上の個体数を記録しているが、昨年の記録に比較して2,448羽の減少となった(第1表)。

ガン類では、マガモが昨年の720羽に比べ記録個体数が大幅に減少したが、ヒシクイは199羽を記録し過去最高となった。コハクチョウも4年連続して記録され、個体数も48羽と過去最高となった。カモ類で昨年度に比べ大きく増加したのは、オカヨシガモ・キンクロハジロなどであり、逆に減少したのは、カルガモ・コガモ・ヒドリガモ・ハシビロガモ・ホシハジロ・スズガモなどであった。特にヒドリガモ・ハシビロガモ・ホシハジロの記録個体数の減少が大きかった。

そして、ガンカモ類で優占度の高かったのは、マガモ(68.1%)・カルガモ(9.6%)・コガモ(9.2%)であった。また記録個体数の少なかったのはハシビロガモ(1羽)・トモエガモ(4羽)・ヨシガモ(18羽)・ホオジロガモ(19羽)であった。

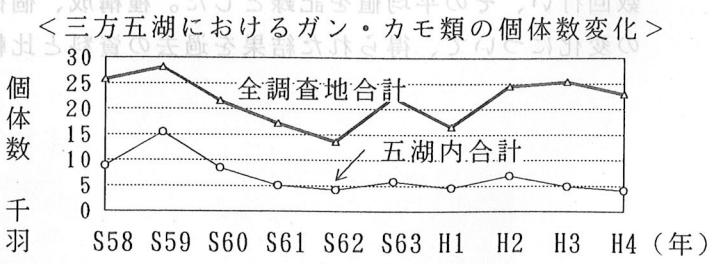
ここ数年の種構成と個体数の変化をみると、総種数も総個体数もほぼ横バイ状態である。しかし種別にみてみると移動による個体数の差はあるもののマガモ・ヒシクイ・コハクチョウが毎年記録されるようになってきた。カモ類ではマガモやオカヨシガモなどがやや増加傾向にある一方、オシドリ・トモエガモ・ヨシガモ・ハシビロガモ・カワアイサなどは昨年同様、記録個体数も少なく渡来地が限定されていた(第4表)。

(2) 調査地別の種数と個体数

確認された種数は、菅湖と三方湖で最も多い11種が記録された。次いで大堤と九頭竜川中流域で9種、久々子湖と小浜湾で8種が記録された。種数が大幅に増加したのは菅湖(4種増)であり、逆に減少数の多い調査地として、水月湖(5種減)、北潟湖(4種減)などがあげられる。

総個体数は、昨年同様日野川で最も多い4,997羽(昨年度4,904羽)記録された。以下、大堤4,421羽、九頭竜川中流域4,395羽、北潟湖3,438羽の順となった。総個体数で大幅に増加したのは菅湖のみであり、他の調査地では横バイ又は減少傾向にあった。減少数の多い調査地として久々子湖(1,226羽減)、北潟湖(972羽減)、九頭竜川河口流域(778羽減)などがあげられる。

三方五湖では五湖内の移動が多く、調査地4湖における最近10年間の個体数変化をみると右図のようになつた。ここ数年、個体数がやや減少傾向にあり、継続した調査分析が必要である。



調査地別の状況は次のとおりであった（第1表）。

【福良ヶ池】
記録された種数と個体数は各々1種、30羽であり、昨年度同様減少傾向にあった。ここは、多い年度で7~8種以上100羽前後のカモ類が渡来し、県内におけるヨシガモの主要渡来地であったほか、ミコアイサも20羽以上記録された場所であった。

しかし、平成2年度以降の減少傾向は顕著であり、その原因として池周辺への人為的立入りや餌となる沈水植物の減少などの影響を受けているものと考えられる。沈水植物の減少はゴルフ場との関連が予想され、ここ数年の動向に注目し、水質・植生などの調査と保護対策が必要であろう。

【北潟湖】
記録された種数と個体数は各々3種、3,438羽であり、昨年度に比べ種数で4種、個体数で972羽減少した。今回は、記録種数において過去10年間の調査で最低であった。マガモは703羽増加し（昨年比1.28倍）、カルガモは632羽減少した（昨年比0.30倍）。また、昨年度855羽も記録されたヒドリガモは今回記録されなかった。

【大堤】
記録された種数と個体数は各々9種、4,421羽であり、昨年度に比べ種数は変わらず、個体数では391羽増加した。マガモは444羽増加し（昨年比1.13倍）、コガモは293羽減少した（昨年比0.65倍）。マガン130羽、ヒシクイ122羽記録されたが、これは大堤水面上空を通過した記録である。
この調査地における個体数は、昭和62年度以降3,000羽以上を記録し、毎年序々に増加する傾向にある。

【九頭竜川河口域】
記録された種数と個体数は各々3種、128羽であり、昨年度に比べ種数で2種、個体数で778羽減少した。これは、昨年720羽記録されたマガンが記録されなかったためであろう。ヒシクイは14羽増加し（昨年比1.22倍）、コハクチョウは36羽増加した（昨年比4倍）。

従来、石川県の片野鴨池を生息地としていたマガン、ヒシクイのガン類は、この調査地を含む坂井平野一帯で安定して記録されるようになつた。また、ヒシクイはこの調査地を主な採餌地としているが、河川改修等によるマコモの減少が懸念されるほか、ガン類が坂井平野及びその周辺地域へ生息場所を拡大することも予測される。

本種が国の天然記念物という重要性から考えて、主たる生息地の調査、保護に関する早急な対策が必要である。

【九頭竜川中流域】
記録された種数と個体数は各々9種、4,395羽であり、昨年度に比べ種数は変わらず、個体数も同様であった。マガモは101羽減少し（昨年比0.96倍）、カルガモは155羽増加し（昨年比1.17倍）、コガモは234羽減少した（昨年比0.72倍）。また、今年度もオカヨシガモ27羽、カワアイサ34羽が記録され、当地に定着していることがうかがえる。

【日野川】
記録された種数と個体数は各々7種、4,997羽であり、昨年度に比べ種数は1種減少し、個体数は同様であった。マガモ、コガモ、カルガモ、オナガ

ガモの個体数は昨年とほぼ同数で、ヒドリガモが 88 羽増加した（昨年比 1.32 倍）。また、ヒシクイが 1 羽記録された。

河川改修により生息地の移動も見受けられ、まとまった個体数（数 100 羽単位）を確認できるのは、ヨシ原のある場所に限られており、今後の個体数変化に注目したい。なお、オナガガモはこの調査地以外ではあまり確認できず、当地が福井県内における代表的な渡来地となっている。

【猪ヶ池】

記録された種数と個体数は各々 5 種、 353 羽であり、昨年度に比べ種数は 2 種減少し、個体数は同様であった。今年度も 10 羽のオシドリが記録され（昨年 11 羽）、当地は福井県内の数少ない渡来地となっている。

【阿原ヶ池】

記録された種数と個体数は各々 2 種、 47 羽であり、昨年度に比べ同様であった。ここ数年 50 羽前後の記録が続いている。これは、当地がまとまった開水面をもたず、湿地内へ入る木道が敷かれていることによりカモ類の警戒心が強くなったためと考えられるほか、樹木により見通しが悪いため、正確にカウントできなかったことも一因であるといえる。平成元年度以降、記録された種はマガモとコガモの 2 種である。

【久々子湖】

記録された種数と個体数は各々 8 種、 563 羽であり、昨年度に比べ種数は 1 種減少し、個体数は 1,226 羽減少した。汽水湖であるため、例年海ガモ類が記録されていたが、今年度はスズガモの記録がなかったほか、ホシハジロ、キンクロハジロなどの占める割合が 54% に減少した（昨年度 67%）。なお、当地では記録個体数が昨年度、今年度と連続して減少しており、人為的な環境変化による影響が懸念される。

【菅ヶ湖】

記録された種数と個体数は各々 11 種、 2,485 羽であり、昨年度に比べ種数は 4 種増加し、個体数は 935 羽増加した。昨年度大幅に減少したマガモは、今年度ほぼ同数であったが、キンクロハジロが 502 羽（昨年度 13 羽）、スズガモが 300 羽（昨年度 41 羽）各々記録された。

当地では年度による個体数変化が大きいが、これは天敵であるワシ類の出現により他の湖へ移動することや、近年レジャーボートの乗り入れにより生息環境が変化していることも原因であろう。警戒心の強いオシドリは今年度 1 羽記録されたに過ぎなかった。五湖のなかで最も自然の多い湖にもかかわらず本種が減少していることは、早急な保護対策が必要である。

【三方湖】

記録された種と個体数は 11 種、 523 羽であり、昨年度に比べ種類数は 1 種増加し、個体数は同様であった。例年、この調査地は記録種数が多いにもかかわらず、個体数はここ 10 年間 1,000 羽を越えておらず、調査面積の割に生息密度が低いといえる。三方湖は、湖周辺の人口も多く最も水質汚濁の進んだ湖であるといえ、個体数の推移に今後も注目したい。

【水月湖】

記録された種数と個体数は各々 6 種、 585 羽であり、昨年度に比べ種数は 5 種減少し、個体数は 420 羽減少した。マガモは 692 羽減少し（昨年比 0.1 倍）、逆にキンクロハジロは 202 羽増加した（昨年比 5.29 倍）。また

昨年度記録のあったハシビロガモ、ホシハジロ、スズガモなどが記録されなかった。当地も三方湖同様、調査面積の割に生息密度が低く、個体数の推移に今後も注目したい。

【小浜湖】

記録された種数と個体数は各々 8 種、985 羽であり、昨年度に比べ種数は 2 種減少し、個体数は 290 羽減少した。昨年度に引き続いての減少であり、スズガモの 278 羽減少（今年度 7 羽）したことが目立つ。例年、数多く観察された海ガモ類が 30 羽前後となり（昨年度 330 羽）、種構成の変化に注目したい。

（3）その他の地域

同日、調査地以外の 3 地域でもガンカモ科鳥類生息調査を実施したので、参考までに報告する。

【足羽川】

マガモ	2,028 羽	カルガモ	896 羽	コガモ	683 羽
オカヨシガモ	11 羽	ヒドリガモ	21 羽	オナガガモ	135 羽
ハシビロガモ	120 羽	ミコアイサ	12 羽	カワアイサ	8 羽

合計 9 種、3,914 羽（今年度 県内第 4 位）が記録され、昨年度に比べ種数は変わらず、個体数も同様であった。足羽川のうち、新明里橋～足羽橋間はハシビロガモ、オカヨシガモ、カワアイサなどの県内でも有数の渡来地となっているほか、今年度はオナガガモも記録され、種数、個体数とも他の調査地に比類できるものである。今後は本事業の調査地として調査を実施すべきであろう。

【福井新港】

マガモ	1,283 羽	カルガモ	80 羽	コガモ	300 羽
ヒドリガモ	1,073 羽				

合計 4 種 2,736 羽が記録された。種数は少ないが、総個体数は比較的多く特にヒドリガモの個体数は県内で最も多い記録であった。港湾地域における調査地として今後も調査を継続すべきであろう。

【九頭竜川上流域（仏原ダム、鷺ダム、九頭竜ダム）】

オシドリ	27 羽	マガモ	106 羽	カワアイサ	39 羽
------	------	-----	-------	-------	------

合計 3 種 172 羽が記録された。カワアイサは昨年度に比べ 16 羽増加した（昨年度 23 羽）ほか、今年度、猪ヶ池、菅湖において合計 11 羽のみ記録されたオシドリが、当地で 27 羽記録されたことは注目される。

3. 過去における調査結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和 44 年度以降、福井県内で実施された調査資料を年度別に集計し、対比し参考とした（第 3、4 表、第 3 図）。

ガンカモ科鳥類の生息調査事業実施要領

第1 目 的

この事業は、福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の飛来状況に関する基礎資料を提供し、鳥獣行政に資するものとする。

第2 調査実施者

この調査は、(財)日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

第3 調査地は、別表参照で省略。

第4 調査方法

調査は、各地の調査地に生息するガンカモ科鳥類の種類、個体数を確認する方法で実施し、原則として定点調査を実施するものとする。

なお、大きい面積の調査地については、全域を実施できるように充分留意し、野外記録表は規格B5版を使用し、別表のとおりとする(別表省略)。

第5 調査期日

調査期日は、平成5年1月14日から1月18日までの間とし、ガンカモ科鳥類の最も安定した環境、飛来羽数を考え調査するものとする。

第6、第7については、省略する。

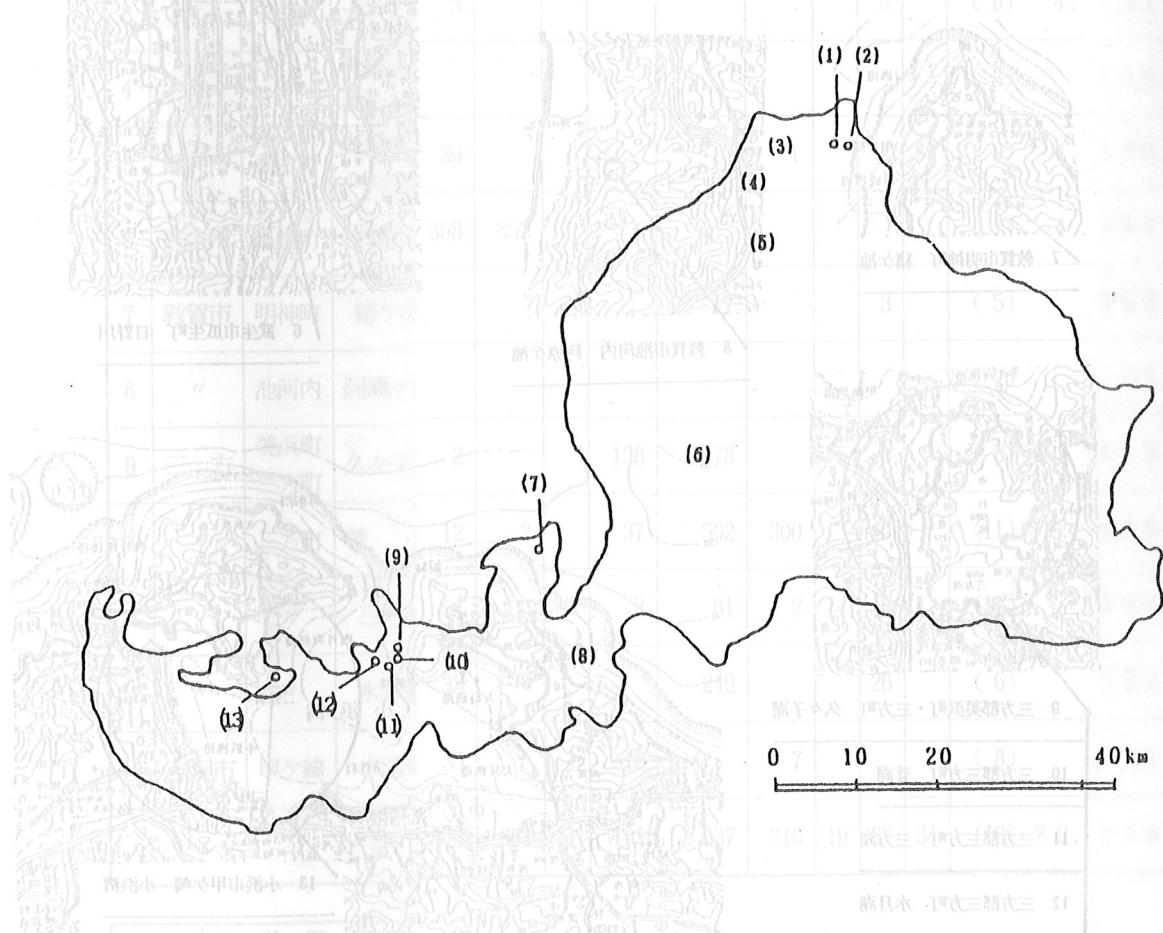
【水月湖】

調査結果は、内最軽取付、湖は興平38.1mmで、式内計測器出率の回分は5種減少し、個体数(442羽)も8.7%減少した。飛来羽数は、個別出率が0.1倍)、逆にキンクロハジロは2.02倍増加した(昨年比5.29倍)。また

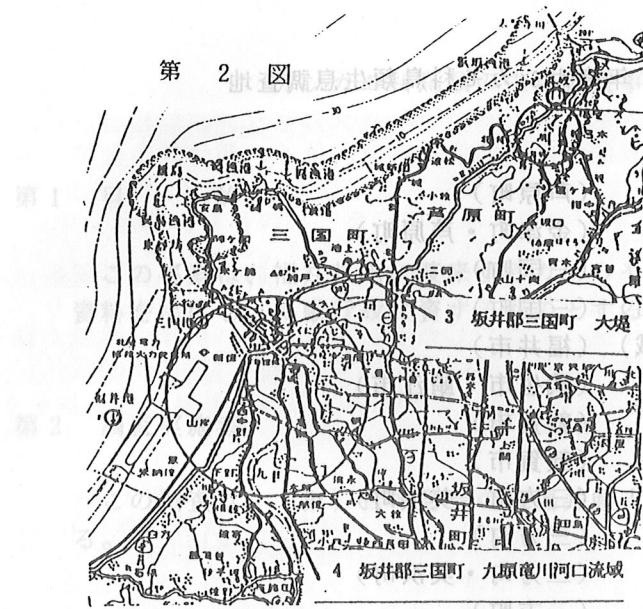
第1図 平成4年度ガンカモ科鳥類生息調査地

附註非 1992年・1993年調査結果

- | | |
|---------------|-----------|
| (1) 福良ヶ池 | (芦原町) |
| (2) 北潟湖 | (金津町・芦原町) |
| (3) 加戸大堤 | (三国町) |
| (4) 九頭竜川(河口) | (三国町) |
| (5) 九頭竜川(中流域) | (福井市) |
| (6) 日野川 | (武生市・鯖江市) |
| (7) 猪ヶ池 | (敦賀市) |
| (8) 阿原ヶ池 | (敦賀市) |
| (9) 久々子湖 | (三方町・美浜町) |
| (10) 菅湖 | (三方町) |
| (11) 三方湖 | (三方町・美浜町) |
| (12) 水月湖 | (三方町) |
| (13) 小浜湾 | (小浜市) |

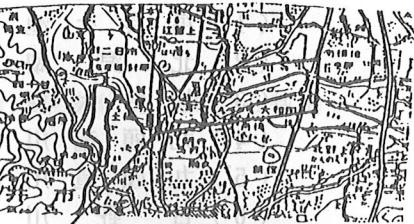


第 2 図



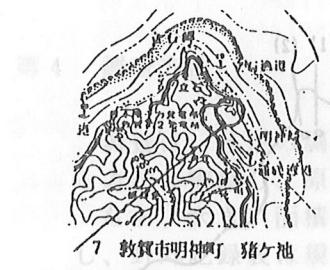
1 坂井郡芦原町 横良ヶ池

2 坂井郡芦原町・金津町 北潟湖



6 横井市高木町 九原竜川中流域

第 3 調査地は、別表参照で省略。(市名小)



9 三方郡美浜町・三方町 久々子湖

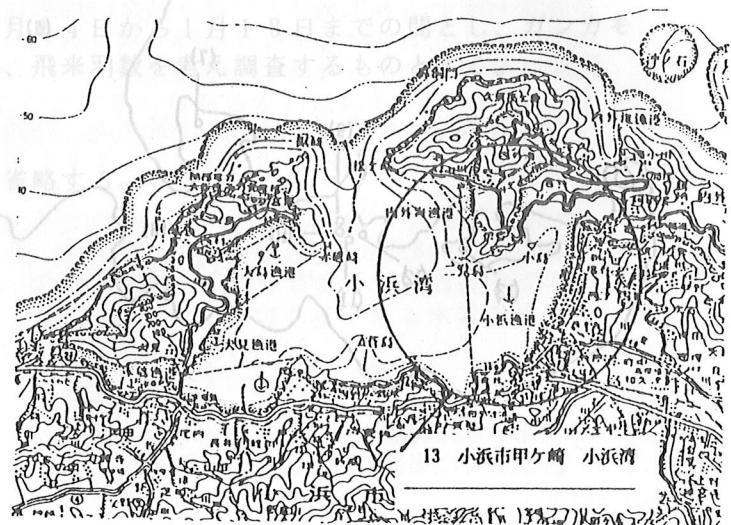
10 三方郡三方町 菅湖

11 三方郡三方町 三方湖

12 三方郡三方町 水月湖



6 武生市瓜生町 日野川



調査表

(平成4年度ガンカモ科鳥類生息調査 実施日 平成5年1月15日)

第1表

番号	調査地				調査面積ha	鳥獣保護等の区分	調査人	調査員代表	調査月日	天候	ガン類	ハクチョウ類	力モ類												合計(種)羽					
	郡市	町村	地名	地況									マガソシドリ	ハクチヨウモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ		
1	坂井郡	芦原町	福良ヶ池	池	3	銃禁	4	萩原 昭彦	1/15	曇														30			(1) 30			
2	"	芦原町 金津町	北潟湖	湖沼	230	保護	6	古畑 重義	"	曇				3,162	274											2		(3) 3,438		
3	"	三国町	大堤	池	9	"	3	高谷 浩一	"	曇	130	122		3,600	5	550	3	1	5							5		(9) 4,421		
4	"	"	九頭竜川 河口流域	河川	20	その他	3	阪本 周一	"	曇	76	48			4												(3) 128			
5	福井市	高木町	九頭竜川 中流域	"	307	保護	7	瀬戸 靖夫	"	曇				2,633	1,046	603	8	27	39					1	4 34	(9) 4,395				
6	武生市	瓜生町	日野川	"	200	銃禁	13	高田 雄治	"	曇時々雨		1		2,968	665	752	1		358	252							(7) 4,997			
7	敦賀市	明神町	猪ヶ池	池	6	保護	4	吉田 一朗	"	曇				10	299	24								17		3	(5) 353			
8	"	池河内	阿原ヶ池	"	8	"	4	上木 泰男	"	曇				7		40											(2) 47			
9	三方	美浜町 三方町	久々子湖	湖沼	140	"	3	高橋 繁応	"	曇時々雨				157	74	16			2		128	178		5 3		(8) 563				
10	"	三方町	菅 湖	"	92	"	3	小嶋 明男	"	曇時々雨			1	1,546	2	59		14	12	2	37	502	300	10		(11) 2,485				
11	"	"	三方湖	"	358	"	3	辻 義次	"	曇時々雨				217	61	82	9	1	54		8	61	2	14	14		(11) 523			
12	"	"	水月湖	"	423	"	3	久保上宗次郎	"	曇時々雨				166		12		94	38			249		26			(6) 585			
13	小浜市	甲ヶ崎	小浜湾	海面	650	銃禁	3	堀 孝敏	"	曇時々雨				865	46	8		5	35		1	18		7			(8) 985			
合計					2,446		59				130	199	48	11	15,620	2,201	2,122	4	18	141	543	254	1	191	1,037	310	19	67	34	(19) 22,950

内訳	鳥獣保護区	9ヶ所
	銃獵禁止区	3ヶ所
	その他の	1ヶ所

ガシカモ科の鳥類

表 2 第

（調査実施日 平成5年1月15日）

ガ ン カ モ 科 鳥 類 生 息 調 査
年 度 別 実 施 状 況

第 3 表

区分 年度	調査 箇所	調査対象 面積 ha	調査 人員	調査結果								観察密度 羽/ha	
				ガ ン 類		カ モ 類		ツ チ カ 類		合 計			
				種	羽	種	羽	種	羽	種	羽		
S 44	6	1,198	2 2	0	0	9	3,063	1	4	10	3,067	2.5	
S 45	1 2	2,481	3 5	1	130	10	4,215	0	0	11	4,345	1.6	
S 46	1 2	2,284	4 2	0	0	14	3,952	0	0	14	3,952	1.7	
S 47	1 6	3,400	7 4	0	0	16	6,682	0	0	16	6,682	1.9	
S 48	1 4	2,725	7 8	1	58	15	12,232	1	1	17	12,291	4.5	
S 49	1 1	2,725	5 9	0	0	15	10,503	0	0	15	10,503	3.8	
S 50	1 4	2,677	8 3	0	0	18	16,800	0	0	18	16,800	6.2	
S 51	9	1,395	4 6	1	8	14	6,164	0	0	15	6,172	4.4	
S 52	9	2,184	3 3	0	0	18	7,653	0	0	18	7,653	3.5	
S 53	1 3	2,273	3 2	1	30	18	15,276	0	0	19	15,306	6.7	
S 54	1 2	2,268	3 5	0	0	16	12,923	0	0	16	12,923	5.7	
S 55	1 2	2,268	2 1	1	203	18	11,050	0	0	19	11,253	5.0	
S 56	1 1	2,218	3 2	1	1	18	18,408	0	0	19	18,409	8.3	
S 57	1 1	2,218	3 6	0	0	16	22,716	0	0	16	22,716	10.2	
S 58	1 1	2,218	5 3	0	0	17	25,867	0	0	17	25,867	11.7	
S 59	1 1	2,418	4 7	0	0	16	28,084	1	1	17	28,085	11.6	
S 60	1 1	2,418	5 2	2	135	17	21,468	1	4	20	21,607	8.9	
S 61	1 1	2,418	5 9	2	278	16	16,965	1	3	19	17,246	7.1	
S 62	1 1	2,418	5 8	1	2	18	13,672	0	0	19	13,674	5.7	
S 63	1 3	2,446	4 5	1	86	16	22,168	0	0	18	22,254	9.1	
H 1	1 3	2,446	4 5	1	140	18	16,334	1	14	20	16,488	6.8	
H 2	1 3	2,446	5 9	2	190	16	24,288	1	34	19	24,512	10.0	
H 3	1 3	2,446	6 2	2	932	17	24,454	1	12	20	25,398	10.4	
H 4	1 3	2,446	5 9	2	329	16	22,573	1	48	19	22,950	9.4	

日本實業株式會社 資料調査部

表3 案

調査員 番号	氏名	性別	年齢	職業	学年	学級	性別	年齢	職業	学年	学級	調査結果					
												調査員 番号	性別	年齢			
244	6	男	23	1,108	10	3,063	1	4	10	3,063	10	3,2	244	女	23		
245	15	男	32	5,481	10	4,215	0	0	11	4,312	10	1,6	245	女	32		
246	15	男	43	3,284	10	3,025	0	0	11	3,025	10	1,4	246	女	43		
247	16	男	24	3,400	10	6,085	0	0	16	6,085	10	1,6	247	女	24		
248	14	男	28	5,425	12	15,335	1	1	12	15,331	12	4,2	248	女	28		
249	11	男	20	5,425	12	10,203	0	0	12	10,203	12	3,8	249	女	20		
250	14	男	23	5,621	18	18,800	0	0	18	18,800	18	6,5	250	女	23		
251	8	男	26	5,302	16	6,164	0	0	12	6,165	14	4,4	251	女	26		
252	9	男	23	5,184	18	5,623	0	0	18	5,623	18	3,2	252	女	23		
253	13	男	23	5,243	18	12,516	0	0	18	12,506	18	6,1	253	女	23		
254	15	男	22	5,268	16	15,053	0	0	18	15,053	18	6,1	254	女	22		
255	15	男	21	5,268	18	11,050	0	0	10	11,050	20	5,0	255	女	21		
256	11	男	23	5,218	18	18,408	0	0	18	18,408	18	8,3	256	女	23		
257	11	男	26	5,218	16	5,516	0	0	16	5,516	16	10,5	257	女	26		
258	11	男	23	5,218	23	0	0	0	14	5,216	0	0	258	女	23		
259	11	男	23	5,218	24	0	0	0	16	5,214	0	0	259	女	23		
260	11	男	23	5,218	24	0	0	0	16	5,214	0	0	260	女	23		
261	11	男	26	5,218	25	132	12	1	16	5,218	25	8,0	261	女	26		
262	11	男	26	5,218	26	5,218	16	1	16	5,216	26	8,0	262	女	26		
263	13	男	28	5,218	28	1	18	1	16	5,216	28	2,1	263	女	28		
H1	13	男	42	5,446	1	86	16	55,168	0	0	18	55,224	18	8,0	H1	女	42
H2	13	男	20	5,446	16	140	18	16,334	1	14	20	16,488	18	0,8	H2	女	20
H3	13	男	20	5,446	16	100	16	54,388	1	31	20	54,215	10	0,0	H3	女	20
H4	13	男	20	5,446	16	339	16	53,243	1	48	10	53,020	0,4	0,4	H4	女	20

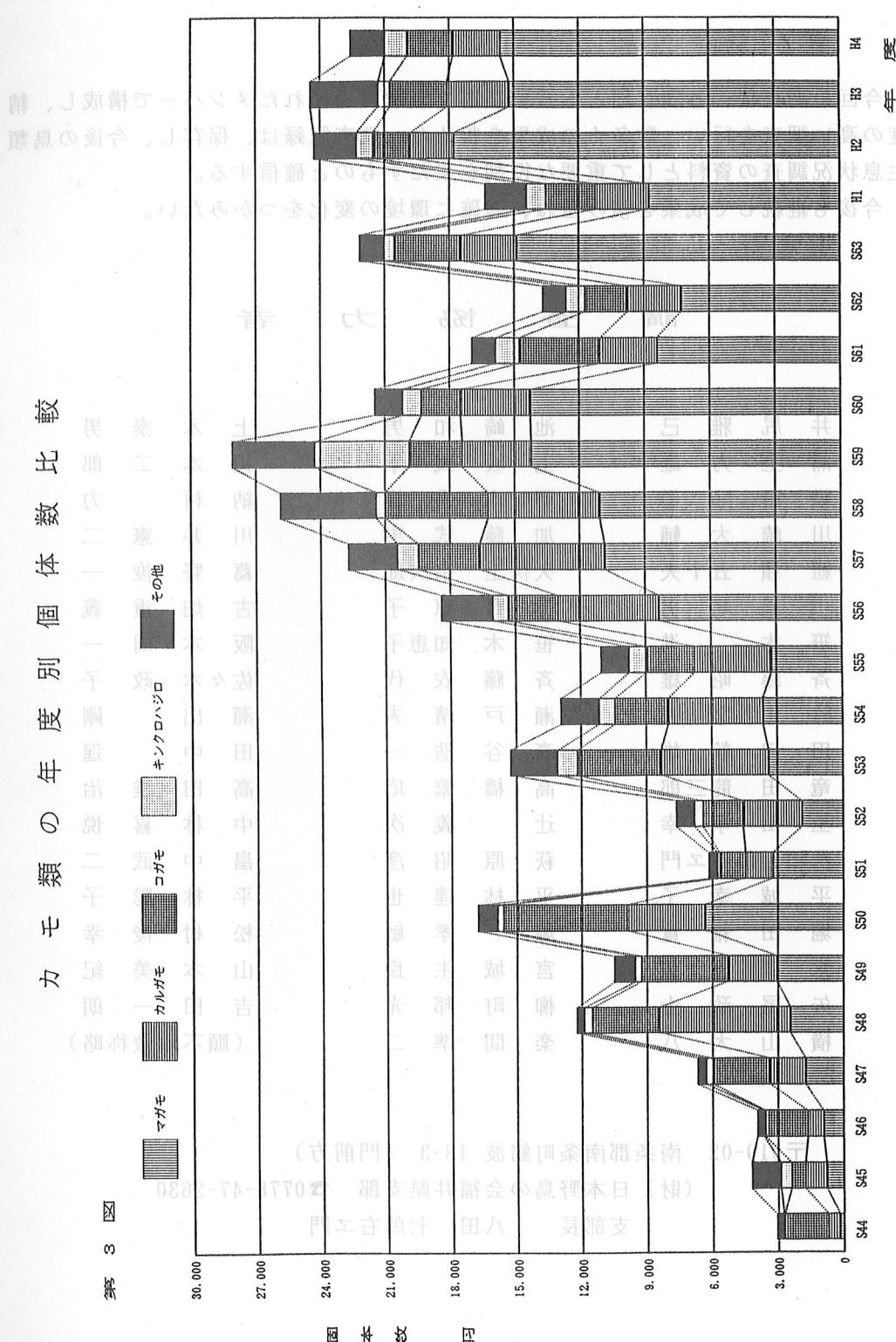
ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

第4表

年 度 種 類		S 44	S 45	S 46	S 47	S 48	S 49	S 50	S 51	S 52	S 53	S 54	S 55	S 56	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H1	H2	H3	H4	
1	マガソ		130							8				203					2	260	2		87	720	130	
2	ヒシクイ																		133	18	86	140	103	62	199	
	不明種					58					30				1									150		
	計	0	130	0	0	58	0	0	8	0	30	0	203	1	0	0	0	135	278	2	86	140	190	932	329	
3	オオハクチョウ																			3						
4	コハクチョウ	4				1													1	4			14	34	12	48
	計	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	0	0	14	34	12	48
5	アカツクシガモ								1																	
6	オシドリ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	18	15	84	28	45	37	17	10	2	2	14	11	
7	マガモ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	8,375	10,842	11,059	14,232	14,254	8,402	7,282	14,884	8,758	17,780	15,215	15,620	
8	カルガモ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	4,629	5,775	5,162	3,175	3,231	2,624	2,485	2,571	2,477	2,020	2,888	2,201	
9	コガモ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	2,320	2,842	4,762	2,457	1,815	3,739	1,936	3,083	2,289	1,718	2,633	2,122	
10	トモエガモ	60		2	19	25		3	100	1	4	18	9	14	6	7	51		32	9	5	179	3	13	4	
11	ヨシガモ	57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75	40	26	67	58	40	14	15	60	18	2	12	18	
12	オカヨシガモ				3				4		2			12	20	12	31	9	7	12	14	27	55	27	83	141
13	ヒドリガモ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	177	266	390	153	170	181	223	294	275	382	1,443	543	
14	アメリカヒドリ																						1			
15	オナガガモ			1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	560	297	1,368	115	244	135	71	272	278	49	247	254	
16	シマアジ															1		2								
17	ハシビロガモ				2	3	92	115	5	2	18	5	9	19	23	11	4	7	3	3	1	12	6	26	1	
18	アカハシハジロ		1																1							
19	ホシハジロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	786	629	1,028	3,144	374	177	154	150	509	501	712	191	
20	キンクロハジロ	35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807	699	972	422	4,395	871	1,092	885	479	899	791	566	1,037	
21	スズガモ					12	10			4	98	195	120	387	616	904	1,349	182	262	355	221	73	347	631	479	310
22	クロガモ										3	6		7	3										1	
23	ホオジロガモ			1				5	3	1	47	21	32	24	32	30	33	48	23	11	10	14	32	9	39	19
24	ミコアイサ			19	3	2	22		35	1	26	66	35	44	43	40	45	40	84	77	81	53	67	37	72	67
25	ウミアイサ							6		2	4	2	9	2			2						2			
26	カワアイサ		1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	63	36	4	42	2	5	12	12	10	6	13	34	
	不明種			100	30	9	10	214		3							5	92	257	6	300	314	7			
	計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050	18,408	22,716	25,867	28,084	21,468	16,965	13,672	22,168	16,334	24,288	24,454	22,573	
	合計	3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253	18,409	22,716	25,867	28,085	21,607	17,246	13,674	22,254	16,488	24,512	25,398	22,950	

カモ類の年度別個体数比較

図 3



あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、精度の高い調査を行い、数多くの成果を収めた。調査記録は、保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

今後も継続して成果を積み重ね、適確に環境の変化をつかみたい。

調査協力者

井 尻 雅 己	池 崎 和 男子	木 本 村 井 野 畑 本 木 出 中 田 林 中 林 村 本 田 吉	男 郎 力 二 一 義 一 子 �剛 治 悅 二 子 幸 紀 朗
浦 上 力 雄	上 坂 民 秀 雄	上 榎 納 川 葛 古 阪 佐 瀬 田 高 中 畠 平 松 山 吉	泰 二 憲 俊 重 周 政 雄 喜 武 聰 俊 美 一
織 田 順 子	岡 本 式 男		
川 崎 大 輔	藤 加 久 保 上 宗 次 郎		
組 頭 五十夫	野 惠 子 子 代 夫		
小 嶋 明 男	越 木 知 恵 衣 靖 浩 繁 義 昭 達 孝 生 邦 準		
笛 木 進 雄	筆 藤 戸 谷 橋 高 高 辻 原 林 堀 宮 柳 楽		
斉 藤 昭 雄			
鈴 川 文 夫			
田 辺 幹 雄			
竜 田 龍 三 郎			
土 田 孝 幸			
八 田 七 郎 右エ門			
平 城 幸 子			
堀 田 雅 貴			
水 野 吉 彦			
矢 尾 政 士			
横 山 大 八			

(順不同敬称略)

〒919-02 南条郡南条町鯖波 18-3 (門前方)

(財) 日本野鳥の会福井県支部 ☎ 0778-47-2630

支部長 八田 七郎右エ門